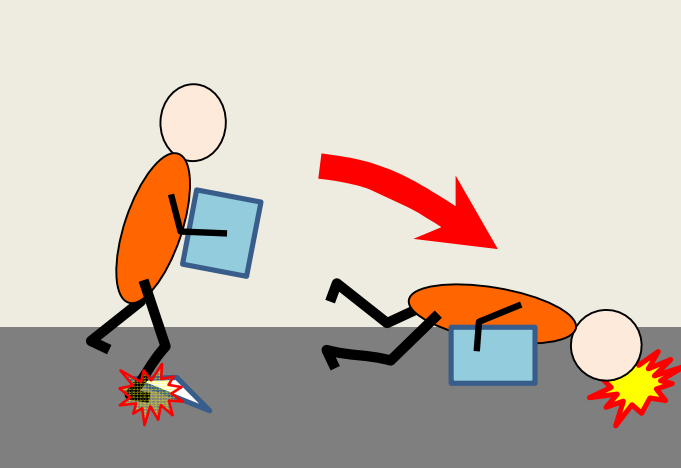
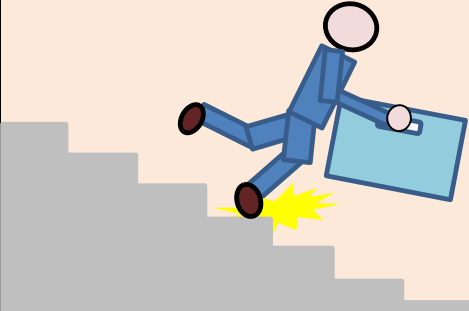




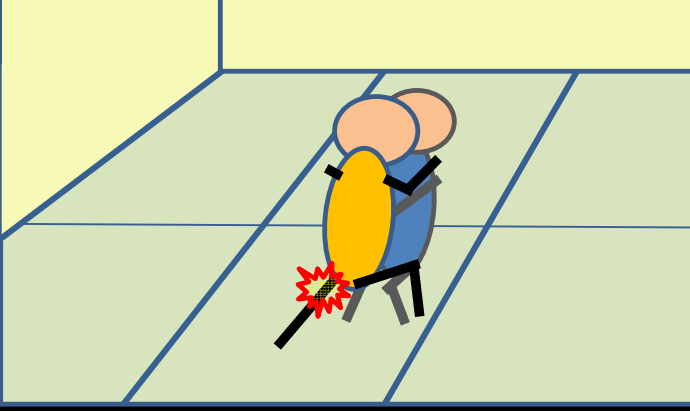
令和4年度国家公務員災害事例（詳細）

	事故の型	発生日・時刻	性別・年齢層	傷病名	休業日数
	転倒	10月・11時台	女性・60代	骨折	23日
災害発生状況	<p>被災職員は庁舎内事務室において、書類を書庫にしまうために、書類の入った収納ボックス2個を両手に持った状態で歩いていたところ、床のカーペットがめくれていることに気づかず足をとられてしまい転倒した。両手は収納ボックスを持っていて塞がれた状態だったため、持ったままの状態です右顔面（右頬）部分を床に打ち付けてしまい、負傷した。</p>				
（発生要因）	<p>床のカーペットがめくれており、その部分に足をとられてしまい、バランスを崩して転倒に至った。両手が塞がっていたため、そのまま顔面を床に打ち付けてしまい、右頬骨付近を骨折した。よって、原因は、床のカーペットがめくれていたことと、両手で収納ボックスを持っていたことである。</p>				
再発防止対策	<p>施設管理を担当する部局の職員が、カーペットの剥離部分について確認し、直ちに補修した。また、他にもカーペットの剥離部分がないかを確認した。おって、施設管理を担当する部局の主任管理官が指示して、各グループのミーティングにおいて、上司から職員に対して、再発防止策（カーペットの剥離があったら気を付けるとともに、職員に知らせること、両手に荷物を持たないこと、など）を指示・注意喚起を行った。</p>				
類似災害防止のために留意すべき事項	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">4 S</div> <ul style="list-style-type: none"> SEIRI（整理） SEITON（整頓） SEISO（清掃） SEIKETSU（清潔） </div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; margin-left: auto;"> 職場を点検して、危険箇所を確認！ </div> </div> <p>○事務室、作業場、階段、廊下等の破損や障害物等の有無の確認及び照明器具等の点検を定期的に実施し、必要に応じた整備・補修等を行う。また、職場のバリアフリー化（段差の解消等）に配慮するとともに、通路等の凍結防止措置を講じるなど庁内外における転倒による災害の防止に努める。</p> <p>特に、執務室内に雑然と置かれた書類、事務用具、通路上の障害物などを起因とした転倒による災害が多く発生しているため、4 S活動の徹底を行う。</p> <p>○通路の段差を解消できない箇所や滑りやすい箇所が残る場合は、表示等により注意喚起を行う。</p> <p>○高齢職員に対しては、心身機能の変化が転倒、墜落・転落等の災害のリスクにつながり得ることを理解し、自らの身体機能や健康状況を客観的に把握して健康や体力の維持管理に努めるよう、写真や図、事例を交えて周知する等の方法により注意喚起する。</p> <p>○大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業を行わない。 （台車の利用、荷物を肩掛けできるような対策を取り、手が塞がらないようにするなど）</p>				

令和4年度国家公務員災害事例（詳細）

	事故の型	発生月・時刻	性別・年齢層	傷病名	休業日数
	墜落・転落	9月・17時台	男性・40代	骨折、打撲傷	95日
災害発生状況	被災職員は、所属する課で実施した研修終了後の後片付けをするため、研修で使用した書類の入った折りたたみコンテナを研修場所である8階会議室から7階に運んでいたところ、階段で躓き、そのままバランスを崩し、踊り場まで転落し、負傷した。				
（発生要因）	当階段には手すりが全域に渡り設置されているものの、折りたたみコンテナを持っていたため、とっさに手すりを掴むことはできず使用できなかった。 災害発生の原因としては、両手がふさがっている状態で、階段を使用したことが挙げられる。階段が濡れていた等の物理的な環境の要因はなし。				
再発防止対策	被災職員本人に対し階段を下りる際は手すりを使用するなど安全に注意するよう指導した。また、手がふさがるような荷物を運ぶ際には、エレベーターを使用するよう指導した。 担当課の課長から、同様の事故がおきないように、課内研修の際に、他の職員へ被災職員に行った指導内容も含め、注意喚起を行った。				
類似災害防止のために留意すべき事項	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 10px 20px; border-radius: 10px; margin-right: 20px;"> 危険の「見える化」を！ </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>○階段昇降時における墜落・転落を防止するため、手すりの使用や足元確認などの基本的注意事項を周知徹底する。なお、手すりのない階段がある場合には手すりを設置するなど、設備面での改善措置を検討・実施する。</p> <p>○危険の「見える化」は、職場の危険を可視化（＝見える化）し、職員全員で共有すること。転倒のおそれのある箇所がわかっているならば、慎重に行動することができる。 職場の中で転倒災害が多発している箇所は、危険マップやステッカーの貼り付けなどにより職員全員で情報を共有し、安全意識を高めることができる。</p> <p>○大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業を行わない。 （台車の利用、荷物を肩掛けできるような対策を取り、手が塞がらないようにするなど）</p>				

令和4年度国家公務員災害事例(詳細)

	事故の型	発生月・時刻	性別・年齢層	傷病名	休業日数
	武道訓練	4月・19時台	男性・20代	筋挫傷	3日
災害発生状況	被災職員は武道場において、武道(柔道)訓練中、相手から左足で被災職員の右足付け根を跳ね上げた左内股の技を掛けられたので、同技を防ぐため左足で踏ん張った際に、左足臀部付近を負傷した。				
(推奨) 発生要因	右足を跳ね上げられた瞬間に畳に残った左足臀部付近の過度な伸展のため。				
再発防止策	再発防止策として、指導者から武道訓練参加者に対し、入念な準備運動を行うことはもちろんのこと、更なる技能の向上及び安全に関する知識習得のため、外部の各種講習会(全柔連公認指導員養成講習会「初心者対象の柔道指導法について」、「安全指導について」、「指導者の倫理について」等を内容とする講習会、県柔道連盟審判講習会(ルールの改正点や安全対策として試合中における禁止行為等の確認を内容とする講習会)に積極的に参加することを告知した。				
類似災害防止のために留意すべき事項	<div style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 10px; border-radius: 15px; margin-bottom: 10px;"> 稽古心得三か条 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい技と受け身を身につけよう。 ・相手を尊重し無理のない稽古をしよう。 ・服装、道場の安全点検をしよう。 </div> <p>○乱取り中の留意点 打ち込みや約束練習で正しく安全な技の掛け方や応じ方を学び、不意に投げられても受け身をとれるようにしたうえで、目的や相手に応じて行うことが、ケガや事故防止のためにも大切になります。</p> <p>○ウイズ～アフターコロナの重大事故防止の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長引くコロナ禍の練習不足等で、例年に比べて基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっていない状況があり、頭部や頸部の重大事故の発生が危惧される。 ・基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっているかを把握して無理のない範囲で練習や試合を行わせる。特に、初心者の練習や試合には特段の配慮を徹底する。 ・日常の練習の中で特に受け身の練習を例年以上に徹底する。 <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">(参考資料) 全日本柔道連盟「柔道の安全指導(第6版)」 https://www.judo.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/11/柔道の未来のために_web用【最終版2023.1.10.pdf】 全日本柔道連盟「コロナ禍と年度初めの事故防止啓発文書」 https://www.judo.or.jp/cms/wp-content/uploads/2022/11/コロナ禍と年度初めの事故防止啓発文書%E3%80%80.pdf</p>				